

平成18年度 施策評価表

所属 05120000
地域振興部 産業経済課

施策	1550 観光のまちづくり				
区分					
対象	区民 平成15年度 433,470人 平成16年度 435,454人 平成17年				
施策 意図	観光資源を活かした賑わいのあるまちになっている				
現状 と課題	区内観光施設には多くの区民や観光客が訪れているが、年の経過とともに入館者数は減少しており、効果的、効率的な施設運営を行うため18年度から指定管理者制度を導入する予定である。利用者数を増加させるには、定期的な展示のリニューアルや新たに魅力となる物などを付加させることが重要であり課題でもある。				
成果 指標	成果指標1：柴又駅の乗降者数（定期利用者を除く乗降者数） 目標：平成17年度 196万人 成果指標2：区内が観光により賑わっていると思う区民の割合（マーケティング調査） 目標：平成17年度 23%				
目 標 達 成 状 況		平成17年度	平成18年度		
	成果指標1 [万人]	予定	196.00	196.00	
		実績	205.00		
	成果指標2 [%]	予定	23.00	23.00	
		実績	25.10		
	成果指標3 []	予定			
		実績			
	トータルコスト (千円)	予定		28,155	
実績		139,348			
施策の 位置付 け	区の 関与度合	区と住民等との協働。区内の様々な観光資源を観光振興を推進する観点から、区としても指定管理者等を活用しながら観光資源となる施設等を管理運営していく必要がある。			
	区民ニーズ への貢献	大きい。観光文化センター等には、多くの区民や観光客が訪れ、地域の活性化に役立っている。			
	成果向上の 必要性	向上必要。地域をより一層活性化させていくためには、より多くの観光客に来てもらう必要がある。			
	成果向上の 容易性	容易ではない。新たな観光施設の設置は困難である。しかし、指定管理者導入による民間活力の活用等により施策成果の向上は可能である。			
位置付け 総合評価	継続。観光資源として区の観光施設は、地域の活性化、区内産業の活性化に一定の役割を果たしている。そこで、利用率の低い施設については廃止を含めた検討を行うとともに、より効果的、効率的な施設の運営方法を導入して区の観光施設を観光資源として活用し、地域の活性化、区内産業の活性化を図っていく。				
施策目的 達成のため の事務事業	事業コード	名 称		トータルコスト(千円)	総合評価
	155005	かつしか観光プラン策定事業		7,104	5
	155004	静観亭管理運営		7,410	4
	155003	和楽亭管理運営		7,276	1
	155001	観光文化センターの管理運営（協会事業）		87,854	0
	155002	山本亭の管理運営（協会事業）		29,704	0

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 05120000

施 策 1550

地域振興部 産業経済課

観光のまちづくり

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		4,828		
		一般財源	(5)		16,201		
	直接費	事業費	(6)		13,547		
	職員人件費	人件費	(7)		7,482		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		0.86		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.86		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		6,352		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		774		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			7,126		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			28,155		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	95,783			
		一般財源	(24)	27,427			
	直接費	事業費	(25)	101,114			
	職員人件費	人件費	(26)	4,482			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.54			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.54			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	31,301			
		(加算)金利	(33)	1,965			
		(加算)退職給与引当	(34)	486			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	33,752				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	139,348				

施策名	観光のまちづくり
-----	----------

担当課： 産業経済課

施策の達成状況

【達成度評価】
施設の運営については（財）葛飾区地域振興協会が実施しているが、施設利用者、観光客に若干の減が見られる。施策の達成状況としては、施設運営に魅力ある事業の導入などの工夫が必要と思われる。

構成事務事業の施策成果貢献度 （事務事業を相対評価し、該当する位置に記載）

事務事業の成果向上の余地	大		観光文化センターの管理運営 山本亭の管理運営	
	中		静観亭の管理運営	
	小	和楽亭管理運営		
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 （事務事業を相対評価し、該当する位置に記載）

事務事業の成果の増減方向	向上		観光文化センターの管理運営 山本亭の管理運営	
	維持		静観亭の管理運営	
	減少	和楽亭管理運営		
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
観光文化センター、山本亭、静観亭については指定管理者の導入等により成果の増を図っていく。また、和楽亭については廃止も含めて検討する。